

AFICAT ニュースレター(日本第11号)

2023年6月19日発行

第11号では、2023年5月中旬に実施された、AFICAT対象5カ国の政府関係者および民間セクター関係者が来日した本邦招へいプログラム、および今後AFICATで出展予定の各種展示イベントについて、お知らせをさせていただきます。

今後アフリカ各国で開催される展示イベントやタンザニアに設置予定のショールームに会社紹介や製品紹介をご希望の方は、ぜひAFICAT運営チームまでご連絡ください！

国内:本邦招へいプログラム(ビジネスフォーラムの開催)

2023年5月22日～26日、AFICAT対象5カ国(タンザニア、ケニア、コートジボワール、ガーナ、ナイジェリア)の農業機械化に関連する政府関係者および民間セクター関係者計9名(以下、被招へい者)が来日し、本邦招へいプログラムに参加しました。プログラム初日の22日はホテルニューオータニ東京でビジネスフォーラムが開催され、100名近くの本邦企業やAFICATに関心を有する方々にご参加頂きました。

第一部のセミナーでは、アフリカ各国の政府関係者より各国での農業機械化に係る現状や課題、本邦企業に期待すること等が発表され、民間セクター関係者からは所属組織の概要や本邦企業との連携可能性等について発表されました。また、それらの発表を受けて、AFICATの有識者からはアフリカの現場のニーズに合った農機導入や、農業バリューチェーン全体で機械化を考えていく必要があることが共有されたほか、一般参加者からは現地における農業機械のメンテナンス体制の構築や、本邦企業が主導する形での現地メンテナンス人材の育成の重要性等が共有されました。

第二部の名刺交換会では、被招へい者と本邦企業の皆様との名刺交換や情報交換が行われました。第一部に続いて多くの方に積極的にご参加を頂き、活発なコミュニケーションが行われました。

当日のセミナーの議事録や各登壇者の発表資料は、本ニュースレター末尾のAFICATウェブサイトにて追って掲載される予定ですので、ぜひご覧下さい。また、農業関連の業界紙である農村ニュース、農経しんぼう

にも同ビジネスフォーラムの様子を取り上げて頂きました。こちらもAFICATウェブサイト内のリンクからぜひご参照ください。



ビジネスフォーラム(第一部セミナー)

国内:本邦招へいプログラム(企業訪問)

5月23日から25日にかけて、被招へい者は本邦企業や研究機関6カ所を訪問し、施設見学や意見交換を行いました。

(1)(株)ケツト科学研究所さま(以下、ケツト)



キャリアレーション・カーブの設定について説明するケツトの吉田氏

これまで、ケツトはAFICAT運営チームの支援のもと、AFICAT対象5カ国でセミナーを実施しています。今回、被招へい者はケツト本社で時間をかけて製品説明を受け、研究施設の見学をしたことで、改めて同社および同社製品の技術力の高さを認識した様子でした。特に製品の正確性を維持するために重要なキャリ



レーション・カーブの設定(異なる作物に応じて正しい水分値が得られように水分計を調整する作業)について、強い関心を示していました。

被招へい者からは、現場の実情を踏まえた上で、スティックタイプの水分計への要望、そして現地販売代理店や使用者に対する操作方法に関する研修の実施が提案されました。

(2) 本田技研工業(株)さま(以下、ホンダ)

被招へい者はホンダの歴史や製品について説明を受けた後、パワープロダクツ事業統括部と意見交換しました。ホンダは主に小規模農業者をターゲットとした農業関連製品を開発しています。被招へい者からは小規模農業者の機械化は重要という声が挙がり、ホンダからは自社耕うん機は園芸用のハウス内での使用にも適していると説明がありました。議論の中では、現地ではホンダの模造品が出回っている、耕うん機を購入するための初期費用を払う十分な余裕が小規模農家にはない、耕うん機に関し、現地の土壌などの環境に合わせたカスタマイズが必要、女性も扱いやすい機械が良い、など実際に現場で見られる農業課題を基にした意見が沢山共有されました。一方で、民間セクター参加者からは、現地金融機関の紹介やウェビナー実施支援の提案があり、ホンダにとって今後のビジネス展開の足掛かりとなる関係が構築された様子でした。



耕うん機を実際に触って確認している様子

(3) 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業機械研究部門さま(以下、NARO)

農業機械の開発・改良研究や検査に関する業務の概要説明を受けた後、農機の安全性を検査する施設などを見学しました。被招へい者からは、市場や行政のニーズを基に NARO と農機メーカーが協力して新しい安全性の高い農機を開発するという、公的研究機

関が介入することで、農機の安全性を担保しているシステムへの理解を深めていました。

民間セクター参加者からは、民間企業は利益を重視しているため、自国ではユーザーが求める機能性のテストは行われているが、安全性のテストはさほど重要視されていないというコメントがありました。今回の見学を機に、被招へい者は農機の安全性に関する研究の重要性を認識されたようでした。



トラクターの安全キャブ・フレーム検査について説明を受ける様子

(4) (株)クボタさま(以下、クボタ)

クボタ東京本社において、クボタのアフリカビジネス展開についてのプレゼンテーションを聴いた後、被招へい者との意見交換が行われました。特に、現地での部品供給や現地販売代理店選定といったトピックを中心に議論は盛り上がりました。

被招へい者からの意見

ガーナでは多くの農機用部品を中国から輸入しているが、問題がある。今回の訪問を契機に、クボタの代理店として直接クボタの部品の輸入をしたいと考えている。

ケニアでは、一般的に現地販売代理店は小規模の会社が担っている。現状はオンライン決済に対応していないことが多く、今後はオンライン決済ができると良い。

一般論として、本邦企業が現地販売代理店を選定する際には、最初に現地販売代理店候補が資金を十分に有していることを確かめるべき。

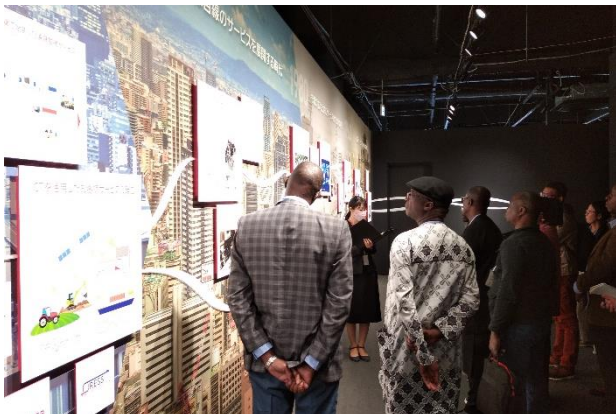
現地販売代理店がクボタの技術を現地で展示することは製品を紹介する良い機会になる。現地の民間セクターネットワークを活用すれば、スムーズな展示も可能だろう。



クボタと意見交換をする被招へい者

(5) ヤンマーホールディングス(株)さま(以下、ヤンマー)

被招へい者は、兵庫県尼崎市にあるヤンマーシナジースクエアを訪問しました。ヤンマーグループのサービス発信基地であるこの場所では、まずヤンマーから、ヤンマーの歴史や ICT 技術を活用したカスタマーサービスについて学びました。洗練されたプレゼンテーションを見た被招へい者からは、本邦招へいプログラム最終日のラップアップセッションにおいても、「あのようなプレゼンテーションを行えば、現地の販売代理店候補も興味を持つ」とのコメントがありました。民間セクター参加者からは、既に現地でトラクターの活動状況のモニタリングサービスを提供する企業があることよりも、ヤンマーの最先端 ICT 技術と現地企業との連携について提案がされました。



ヤンマーシナジースクエアの見学をする被招へい者

(6) (株)サタケさま(以下、サタケ)

サタケの広島本社においては、被招へい者はサタケの事業等の説明を受けました。特に、コメの収穫後の乾燥調製段階において、サタケ製品がどのように品質向上に貢献しているかについて、理解を深めました。また、サタケが有する各種の高機能オプティカルソーター(光選別機)の仕組みを実機で学び、被招へい者

からは感心の声が寄せられました。意見交換では、小型精米システムや大型プラント一式のみでなく、個々の機器の販売について望む声があり、自国への導入に興味を示す被招へい者も見られました。特に、オプティカルソーターは現地のコメ品質に合わせて選別基準を設定できることから、民間セクターの参加者の関心を集めていました。



オプティカルソーターの説明を聞く被招へい者

国内:本邦招へいプログラム(共創セミナー@JICA 筑波)

プログラム最終日の 5 月 26 日は JICA 筑波センターで、農業共創ハブや研修事業など、JICA 筑波が主催している各種取り組みについての説明を受けました。農業機械実習棟等の施設見学をしたほか、圃場や実習施設で留学生や研修員向けに本邦企業の製品紹介と意見交換をするイベント「共創セミナー」にも参加しました。



JICA 筑波センターの農業機械実習棟の見学

共創セミナーでは、本邦企業のブース 3 カ所を訪問し、各企業が展開する具体的なサービスや製品についての説明を受けた後、質疑応答を行いました。ヤンマーアグリ(株)のブースでは、田植え機のデモを見学しました。被招へい者からは現地での想定販売価格、株



間・畝間や箱苗づくり、植付け爪の構造等について積極的な質問がなされました。また共創セミナーに参加した本邦企業とのフリーディスカッションの場も設けられ、アフリカ進出に関心を示す本邦企業と活発な交流が見られました。



ヤンマーアグリ(株)のブースを見学

その後、本邦招へいを締めくくるプログラムとして、被招へい者、JICA 関係者、AFICAT 運営チームの間でラップアップミーティングがあり、AFICAT の今後の展開等について協議が行われました。被招へい者には今回の本邦招へいプログラムで得た知見や経験をぜひ自国でも活かしてもらい、今後の更なる AFICAT の充実した運営につなげて参りたいと思います。

アフリカで開催予定の展示イベントや タンザニアに設置予定のショールームへの 出展企業を大募集！

AFICAT では、今後アフリカ各国で開催される展示イベントに AFICAT ブースを出展する予定です。更に、タンザニアの活動拠点であるキリマンジャロ農業研修センター(KATC)に常設のショールームを設置予定です。直近で開催される具体的なイベント及びショールームに関しては以下をご参照ください。

皆様のご参加をお待ちしております！

展示企業募集(その①)コートジボワール: CARD 総会 AFICAT ブース出展(7月4-5日)

アフリカ稲作振興のための共同体(Coalition for African Rice Development: CARD)はサブサハラアフリカのコメ生産量を倍増されることを目標に 2008 年の TICAD IV で JICA が国際 NGO のアフリカ緑の革命のための同盟(AGRA)と共同で立ち上げた国際イニシアティブです。今回、コートジボワールの Abidjan にて 7 月 4 日(火)から 5 日(水)の日程で第



9 回 CARD 総会が開催されます。総会には CARD の加盟 31 개국からコメ行政を司る担当官が参加する予定です。当日は AFICAT チームも総会会場に展示ブースを構え、本邦企業の製品を紹介いたします。製品カタログ、PR 動画、サンプル品、名刺などをご提供頂ければ AFICAT ブースで展示し、現地で簡単な製品説明や、PR、現地での活用可能性等を広報します。現地スタッフ(企業)の方のブース参加も大歓迎です。**AFICAT ブースへの出展・参加費用は無料(ただし、資料やサンプル品の輸送費、現地スタッフの移動費等は企業負担)**となっておりますので皆様のご参加をお待ちしております。

CARD 総会での広報希望の場合は、6 月 20 日(火)までに以下の AFICAT 代表メールアドレスまでご連絡ください。メールの件名を「コートジボワール、CARD 総会に関して(企業名)」と記載してください。

- AFICAT 代表メールアドレス:
aficat.team@kmcinc.co.jp

展示企業募集(その②)タンザニア:ナネナ ネ(農業祭)AFICAT ブース出展(8月初旬)

昨年同様に、8 月初旬にタンザニア各地で開催される農業祭(通称ナネナネ)のうち Arusha 会場に今年も AFICAT ブースを出展します。今回、ナネナネに出展を希望される農業関連企業の皆様の参加を募集いたします。「本格的なアフリカ進出はまだ先だが、まずはタンザニアで自社製品を紹介したり、どのように受け止められたりするのかなどの現地の意見、関心等を確認したい」、「アフリカに既に進出しているが、さらに現地販売代理店候補や販売先といった関係者を増やしたい」といった方々も是非、ご参加ください。

製品カタログ、PR 動画、サンプル品、名刺などをご提供頂ければ AFICAT ブースで展示し、現地で運営を行う AFICAT 運営チームにて簡単な製品説明や PR、現地での活用可能性等を広報させていただきます。本邦企業の皆様ご自身や現地スタッフの方のブース参加も大歓迎です。

AFICAT ブースへの出展・参加費用は無料(ただし、資料やサンプル品の輸送費、現地スタッフの移動費等は企業負担)となっておりますので皆様のご参加をお待ちしております。

(参考資料:[AFICAT ニュースレター本邦向け第 5 号](#))

参加希望、ご質問等は以下の AFICAT 代表メールアドレスまでご連絡ください。メールの件名を「タンザニア、ナネナネに関して(企業名)」と記載してください。



- AFICAT 代表メールアドレス：
aficat.team@kmcinc.co.jp

今回は昨年を経験を生かし、タンザニア農業省と展示方法を共に考えるなど、農業省との連携を強化する予定です。ご提供頂いた資料、サンプル品等は後述する KATC ショールームでの常設展示にもご活用頂くことも可能です。こちらも併せてぜひご検討ください。



ナネナネでの昨年の AFICAT ブースの様子

展示企業募集(その③)タンザニア: KATC 内 AFICAT ショールームご案内(常設)

昨年より準備を進めておりました AFICAT ショールームが、2023 年 7 月上旬に KATC 内に完成予定です。このショールームは常設展示として、本邦企業の製品・技術を紹介することを目的に製品や写真の展示、カタログ類の配布、PR 動画を流すことを想定しており、こちらのショールームで展示を希望される農業関連企業の皆様を募集しております。製品カタログ、PR 動画、サンプル品、名刺などをご提供頂ければ、本邦企業の皆様の製品・技術の広報をさせて頂くことが可能です。AFICAT ショールームへの展示費用は無料(ただし、製品カタログやサンプル品の輸送費は企業負担)となっておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

参加希望、ご質問等は以下の AFICAT 代表メールアドレスまでご連絡ください。メールの件名を「タンザニア、KATC ショールームに関して(企業名)」と記載してください。

KATC は、JICA(日本政府)の支援により 1981 年に設立され、タンザニア農業省傘下の研修センターとして、年間を通じて研修受講者や政府・民間の来訪者が多いところです。農業省や KATC 職員と AFICAT 運営チームは、上記の目的を果たすため、今後協働してショ



ールームの運営にあたって参ります。

- AFICAT 代表アドレス：
aficat.team@kmcinc.co.jp

編集後記

本邦招へいプログラムは 1 週間という短い期間での実施でしたが、ビジネスフォーラム、各企業訪問、JICA 筑波での共創セミナーへの参加等、被招へい者の日本の農業機械に関する知見や本邦企業等関係者との関係性を深めるよい機会となりました。

上述したとおり、今後タンザニアやコートジボワールで本邦企業やその製品を現地に紹介するイベントや機会がありますので、ご関心のある方は、是非、AFICAT 運営チームまでご連絡を頂ければ幸いです。

編集・問い合わせ

(株)かいはつマネジメント・コンサルティング

弓削田・魚住・小早川・狩野

Tel: 03-5791-5083 Mail: aficat.team@kmcinc.co.jp

AFICAT HP:

<https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/aficat/index.html>

※ニュースレターの新規登録・登録解除をご希望の方は上記の宛先までお名前、所属先、メールアドレスをご連絡ください。

※AFICAT のご活用に関するお問い合わせも、上記の宛先までご連絡下さい。